

中学校社会科単元計画【地理的分野：九州地方】

【単元のねらい】九州地方の地域的特色について、環境問題や環境保全を産業や地域の動向、人々の生活などと関連づけて考察し、持続可能な社会の構築のためには、地域における環境保全の取組が大切であることをとらえさせる。

【単元のめあて】九州地方の特色を環境面に着目して地図にまとめよう。

【単元の課題】九州地方では環境に関して、どのような取組が見られるか。また、なぜそのような取組が行われているのか。

1時	【課題】九州地方の自然環境にはどのような特色があるか。	【活動】自然環境の特色を地図や雨温図・写真等で他の地域と比較して読み取る。	【まとめ】九州地方は火山が多く、火山灰が厚く堆積している地域が見られる。また、比較的、温暖で台風などの自然災害が多い。
2時	【課題】九州地方の人口や産業にはどのような特色があるか。	【活動】人口や産業の特色をグラフや主題図・写真等で空間的・時間的に比較して読み取る。	【まとめ】福岡県を中心に九州北部に人口は集中している。農業は南部で促成栽培を行った畑作が中心となっている。工業では近年、ICや自動車産業への転換が進んでいる。
3時	【課題】九州地方では、自然環境の保全のためにどのような取組が行われているか。	【活動】自然環境の保全と開発のバランスについて人々の営みと関連付ける。	【まとめ】集中豪雨に備えて砂防ダム建設をしたり、沖縄ではサンゴ礁を守りながらの地域開発が進んでいる。
4時	【課題】水俣市や福岡市では、工業化や都市化がもたらした環境問題に対してどのように向き合ってきたか。	【活動】教科書のコラムや写真から各都市の時間的な変化の様子を比較し、そのための対応策を人々の営みと関連付ける。	【まとめ】水俣市では、公害を乗り越え、環境モデル都市として世界に情報を発信している。福岡市では、緑化運動を進めるなど都市化による災害に対する取組を進めている。
5時	【課題】北九州では環境問題を受けて、どのような社会を目指した取組が行われているか。	【活動】写真やグラフなどで環境の変化に着目し、北九州市の取組と関連付ける。	【まとめ】北九州市では廃棄物をリサイクルするエコタウンが形成され、持続可能な社会を目指す取組が行われている。

【単元のまとめ】九州地方の人々は、環境問題や環境保全を地域開発に関連付け、砂防ダムの建設や防災マップの作成や水俣市や北九州市に見られる街づくりの取組などを行っている。それは、持続可能な社会の構築のためである。

6時 【単元の振り返り】(視点)1時間ごとに九州地方の白地図に記入した特色や取組をもとに持続可能な社会を構築するために自分ができることを考え振り返りとする。